



インターネットによる 人権侵害

心無い書き込みや個人情報などの暴露^{ばくろ}によって、人を傷つけてしまうことがあります。また、名前や写真などの情報がインターネット上に流出すると完全に消去・削除^{さくじょ}することは難しく、思いがけないトラブルに巻き込まれることがあります。

自死・自死遺族

自死の背景には、経済・生活問題、労働問題、いじめやいやがらせなどによる人間関係の問題などさまざまな悩みが複合的に重なっており、問題解決に向けて関係機関が連携^{れんけい}して支援することが大切です。また、自死遺族への適切な対応が求められています。詳細を無理に聞き出そうとすることや一方的な意見の押し付けは控える必要があります。

ホームレス等 生活困窮者

偏見^{へんけん}や差別意識^{さべついしき}から嫌がらせを受けたり、暴力^{はいりき}などによって地域から排除^{はいじょ}されたりする事件が発生しています。

どんな人権問題があるのか、 いくつか例を見てみましょう



犯罪被害者等

生命や身体、財産に対する直接的な被害のほか、精神的負担、医療や裁判に伴う経済的負担、報道やインターネット上でのプライバシー侵害^{しんがいはん}などがあります。

災害時には

避難所^{ひなんじょ}では、プライバシーの保護や、聴覚障がい者^{ちやうかく}、視覚障がい者^{しかく}や外国の人たちにも正確な情報が伝わるよう配慮することが重要です。また、災害時には不確かな情報が拡散することによって、混乱や人権侵害が引き起こされることがあるので注意が必要です。

性的マイノリティ (LGBTQ)

多様な性のあり方

L…レズビアン(女性として女性のことが好きになる人)

G…ゲイ(男性として男性のことが好きになる人)

B…バイセクシャル(好きになる相手の性別が決まっていない人)

T…トランスジェンダー(体の性と異なる性自認^{じにん}をもっている人)

Q…クエスチョニング(自分の性が定まっていない人、あるいは、自分の性を決めたくない人)

周囲の人からの無理解や偏見^{へんけん}から、様々な困難を強いられている人がいます。



北朝鮮当局による 拉致問題

家族から引き離され、未だ帰国が実現できない被害者の問題があります。



※その他、男女平等、高齢者、外国人、子ども、障がい者、部落差別、患者等の人権の問題があります。